

韓国ボランテア募集再開

雪あかりの路市、実行委で報告

日韓関係悪化の影響で、来年2月開催の「小樽雪あかりの路」（実行委主催）

への参加を韓国ボランテアが断念していた問題で、韓国人の団体「OKOVO」がボランテアの募集を再開したとする連絡が実行委にあった。小樽市内で6日開かれた実行委の検討委員会で事務局の市観光振興室が報告。募集再開の経緯などは確認が取れていないが、少なくとも

も数人の参加は見込めるという。

市観光振興室などによると、検討委のボランテア・地域連携部会の部長に今月4日、無料通信アプリ「LINE」で韓国側から連絡があった。

それによると、韓国でボランテア募集が再開され、前夜祭を含めた期間中（9日間）全てで最少7人、多ければ20人ほどが集まるとされる。ボランテアOBも短期間で数人が参加できるとの見通しという。

韓国の団体がボランテア募集を再開したと報告された実行委の検討委員会

2003年結成のオコボは毎年ホームページ（HP）を開設してメンバーを募集。今年2月の雪あかりの路には約50人が参加し、イベントを支えた。今年9月にHPを開いたが、韓国国内で反発が強くHPを閉鎖し参加を断念していた。この日の検討委には委員

11人が出席し非公開で開催。ボランテア確保のため、実行委が小樽商科大に正式に協力要請したほか、台湾からも24人ほど参加意向があることが報告された。

ただ、韓国ボランテアについては、募集再開の経緯などが明らかになっておらず、検討委の近藤修弘委員長は「大変うれしいが、まだ何があるか分からない。引き続きボランテアを募っていく」と話している。（前野貴大）

